

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

マーケットサマリー

Treasury Department

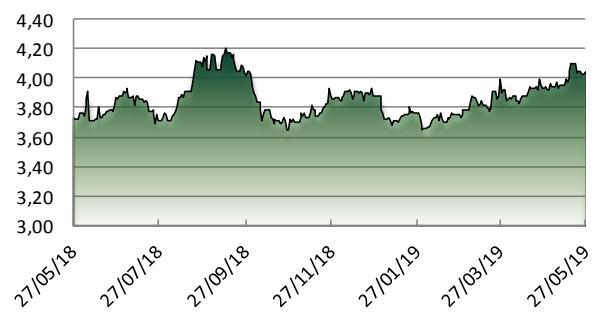
昨日のドルレアルスポット相場は、前日の政府支援集会のマーケットへの影響を見極める展開となり、序盤こそ年金改革法案・汚職防止法案を支持する今回の集会目的を好感しリアル買いで反応したものの、政府と議会の関係を大幅に改善するには至らないこと、(相応に大規模な集会となつたが)5月15日に開催された教育予算減額に反対するデモと比較すれば小規模に留まつたことから、引けにかけてはリアル売りに転じ、4.04台前半で取引を終えた。なお、支援集会ではMaia下院議長とDias Toffoli最高裁長官への批判が高まったが、政府と議会、司法が一枚岩であることを示すため、Bolsonaro大統領は同下院議長、同最高裁長官に加え、Guedes経済相、Lorenzoni官房長官、Davi Alcolumbre上院議長を招き、朝食会を開催したと地元紙は報じている。目先の材料としては上院で予定されている省庁統合案(29省を22省に統合)の票決(6月3日が期限)、30日公表予定の第1四半期GDPが注目が集まる。特に経済見通しについては下方修正が顕著となっており、昨日ブラジル中銀が公表した週次サーベイ(FOCUS)においても、年末の成長率見通しが先週の1.24%から1.23%へ低下。新政権発足時には2%~3%の成長が期待されていただけに、政府と議会の不協和音、年金改革法案の遅れが明らかに経済見通しの重石となっている。ブルームバーグ社が公表した年金改革法案によって期待される歳出削減規模(マーケット予想)は、10年間で6800億レアルと、前回4月の調査対比 僅かに上昇(6300億レアル)。マーケットは政府が掲げる10年間で1兆レアルとの目標は困難との見方に傾いているが、Guedes経済相は引き続き、「目標達成は可能」との立場を崩していない。

マーケットデータ

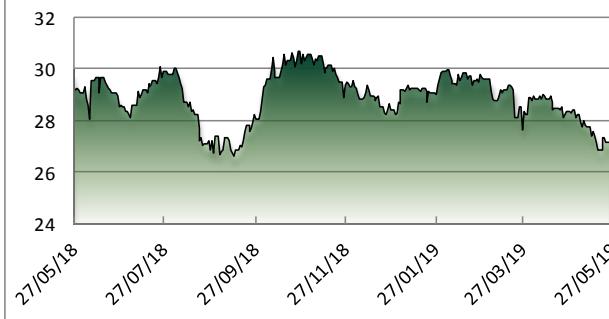
Indicator	Unit	5月24日	5月27日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
リアル	対 ドル	BRL	4,0227	4,0422	0,48%	2,82%	3,6374
	対 円	JPY	27,17	27,10	-0,26%	-4,48%	30,08
	対 ユーロ	BRL	4,5091	4,5230	0,31%	3,15%	4,1646
円	対 ドル	JPY	109,31	109,51	0,18%	-1,86%	104,87
	対 ユーロ	JPY	122,46	122,56	0,08%	-1,53%	118,71
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	93,628	94,864	1,32%	-1,43%	100,439	87,536
CDS Brazil 5yrs	bps	180,40	180,33	-0,04%	2,62%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	8,85	8,80	-0,56%	-1,79%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)	%	6,38	6,36	-0,24%	-1,93%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor	%	2,52063	2,52488	0,17%	-2,24%	2,8039	2,5180
CRB Index (国際商品指数)	Index	178,63	178,63	0,00%	-3,26%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



リアル円スポットチャート



〈オプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。